

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	水質保全対策事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	04	01	05	01	05
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策課				
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	大島 尚文				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内河川	意図	河川や湖沼環境を保全
事業内容	河川等の水質改善のため設置した浄化施設が適正に管理されているかを確認するため、市内主要河川15箇所の水質調査を行う。手賀沼水環境については負担金をもとに県や流域市等と共同して浄化事業を行い、良好な水質の公共用水域を目指す。			
事業開始から現在までの状況変化	当初市内主要河川10箇所を測定箇所としたが、より細かく調査することから15箇所とし、河川等の水質管理を図っている。また、清流ルネッサンス事業として、坂川に流入する水の水質浄化を図るための施設を、県と流山市がそれぞれ設置しており、その施設の維持管理を行っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	水質汚濁調査箇所	15	15	15	箇所	→→	委託実績報告書による
②	坂川富士見橋（BOD）	2.60	2.10	1.90	mg/l	↓↓↓	〃	
③	坂川富士見橋（DO）	8.40	10.10	9.70	mg/l	↑↑↑	〃	
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・水質の検査値は、年4回（春、夏、秋、冬）実施した検査値の平均である ・坂川の環境基準値はBOD10mg/l以下、DO2mg/l以上、なお「清流ルネッサンスⅡ江戸川・坂川」では目標値をBOD2mg/l以下としている		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		14,783,249	15,294,785	14,801,073				
事業費(b)(円)		12,037,249	11,895,985	11,446,973				
うち一般財源		12,037,249	11,895,985	11,446,973				
職員給与と費(c)(円)		2,746,000	3,398,800	3,354,100				
人役・職員(人)		0.40	0.40	0.40				
人役・再任用(人)			0.30	0.30				
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	事務改善を行い経費の削減を図る。	③取組における課題(Check)	水質が改善の方向にあり、検査箇所等の見直し及び、浄化施設の老朽化に伴う管理体制の見直し。
②H30に実施した取組(Do)	事務の必要性や効率性について検証を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	浄化施設の維持継続について、県などと協議し、経費の削減を図る。